

4回、参加人数延べ59人です。アンケート調査では、7割の方が市民と行政の協働は重要であると回答しています。そこまで市民に浸透しているでしょうか。

**A** 市長 アンケートの結果は、ある意味協働というものに対しての認識がそれだけ行き渡っているのだろうと思います。

**Q** 市民には、感覚的になじみが薄くわかりづらいです。市民が参加しやすくなるには、行政がもう一歩踏み出した行動が必要だと思います。

**A** 市長 従来からある自治会や既存の組織が一歩前に踏み出すと、大変大きな力を持って協働が進むと思っています。

**Q** 本庁方式の中で、保健福祉部は、松尾の1T保健福祉センターで業務を行っています。事務の効率はどうでしょうか。

**A** 保健福祉部長 事務の効率率は、本庁方式に比べれば、やや時間がかかります。効率がよくないと思います。今後の対応は。

**AQ** 市長 合併当初は分庁方式でした。

将来すべての部を本庁に集めることになれば、新しい庁舎を建設しなければならぬ。行政は集中、コミュニケーションは分散という考え方や効率的な面からも行政は集中したい。今後、松尾の庁舎を耐震の

関係で取り壊さなければなりません。その跡地について地域の皆様方のご意見をいただきながら、地域の皆さんにとって一番好ましい形にしたことと思っています。

**AQ** 大槻副市長は6月いっぱい退任とのことですが、就任から現在までの感想は。

**A** 副市長 平成20年7月に山武市に着任して、早2年が経過しました。

成東病院の独立行政法人化の課題では東京から比較的近いこの千葉県の地域で地域医療の問題がこれほど深刻なのかということに当初驚きました。議会、関係行政機関、医療関係者などの議論を重ねた結果、今年の4月からさんむ医療センターが発足し、市民の皆様が途切れることなく、医療と安心を提供し続けることができたと、非常に大きなことだったと思っています。

**Q** 国では、地方分権のかけ声が盛んですが、地方分権は、地域がみずから考え、行動し地域が自分たちの将来を見定めていかなければいけないことがわかりました。本庁に得難い貴重な経験になったと思っています。

**AQ** 次の副市長案はお持ちですか。

**A** 市長 今のところ、自分の頭の中で検討していると持っているわけではありませ

地元から後継を育てるといふ形の中で、副市長を考えるべきだと意見もいただきました。様々な考え方もあろうかと思いますが、山武市の将来にとつてもう少し考えをまとめていきたい。

**Q** さんむ医療センターを核とした、安心の地域医療を実現しますとありますが、どのような施策をお持ちですか。お聞かせください。

**A** 市長 市民は公的な性格を持つさんむ医療センターを支持いただいたものと理解しています。

病院のあるまちを残したということであれば、まちづくりを進めていく中で、医療を中心としたまちづくりは、当然のことと考えます。医療だけではなく、福祉、保健とうまくリンクさせて、市民にとつて安心・安全といったものを確保していく大きな手だてにしていきたい。

**Q** 採算性のある農林業を、目指しますとありますが、どのような施策をお持ちですか。

**A** 市長 農業の将来、林業の将来を本庁に持続可能なものとして考えた場合、採算性を無視できない。行政として最善の努力をしたいと思っています。

特に稲作の場合は、国の所得補償制度ができたので、積極的に取り組んで農業の安定を図っていききたいと思っています。

**AQ** 何か目に見える施策はありますか。

**A** 経済環境部長 認定農業者の育成事業、園芸農産支援事業、農村振興総合整備事業、農地・水・環境保全向上事業、サンブスギ林再生事業などがあります。

**Q** 国の施策として、水田利用用自給率向上事業、米戸別所得補償モデル事業に積極的に取り組んでいます。

**Q** まちづくり報告書によると、認定農業者が増加しているようですが、その要因は。

**A** 経済環境部長 認定農業者が増えている要因は、国の担い手育成支援の経営体育成交付金や野菜経営安定を図るための指定野菜価格安定対策事業、県の園芸農産物支援事業、さらに山武市単独の認定農業者育成事業の対象者になれることからです。

**Q** 山武市の基幹産業は農業です。現場にも出向いていただきたいと思いますが、市長 新たな気持ちで現場の声を聞き、できる限り現場に向かう心がかけます。

**AQ** サンブスギの森林面積を伺います。

**A** 経済環境部長 サンブスギ林としては1268畝です。

**Q** 所有者の高齢化、木材の低価格等が原因で、手入れが正常にできていないと思います。市としては何か支

援できないでしょうか。

**A** 経済環境部長 森林再生を大きな目標として行っています。森林整備事業、木材利用やバイオマス利用の推進を行っています。

**Q** 公共建築の中にサンブスギを使用することの条例を検討してはどうか。

**A** 市長 国の目標が設定されています。その中で低層の公共建築物については、原則として木造化を図ることが想定されています。

**Q** 成東地区に建設予定のサンブスギを使用すると解釈してよろしいか。

**A** 保健福祉部長 あり方検討会等の意見を踏まえ木造という構造で計画が進んでいます。

**A** 市長 地元産のサンブスギを最大限使っていくことを目標としています。

**Q** 建築士の有志と工務店のグループが、サンブスギを利用して、事業性を持った地域活動が始まり、地域産業として住まいづくりが復活しつつあります。地元業者にお願いする考えはありますか。

**A** 市長 地元振興を図るといふ基本的な考えでいます。

**Q** さんむ医療センターについてスタートして2カ月がたちますが、市長の感想をお聞かせください。